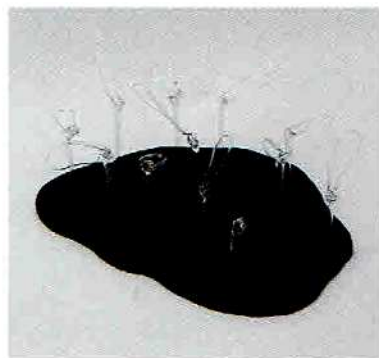


青のあいだ Ao no Aida 2011-M150-III 145x227cm oil on canvas



青のあいだ Ao no Aida 2011-M150-III 145x227cm oil on canvas



Gaiuss-Gum 40x35x12cm 2016



作品II Workill Glass object+Brass 52x52x30cm 1993

〈青のあいだ〉は精神性を重視した象徴的な捉え方の造形美であり、強靱なものをひらがなの「あいだ」で現している。1965年20才の佐々木はルチオ・フォンタナ(空間概念)有から無に触発され、以来半世紀、〈青のあいだ無から有の造形〉に向かう。

コバルトブルー顔料一色、一つの技法、天地を暗示する一つの形で極限まで削ぎおとした抽象表現で希有な芸術領域に到達。

〈青のあいだ〉「青の精神—無から有」タブローとマニフェストを初個展で発表。カタログ(パリ国立図書館蔵1977年)に〈青のあいだ〉の造形思考「無意識的な自然と意識的なもの [Unconscious Nature and Conscious Object]」を表明。

〈青のあいだ〉の異素材・異技術・異表現の中で最初に挑戦したのが1976年に発表したガラスオブジェであった。

美大で基本と精神を重視した先端的美術教育の現代造形専修を立ち上げ実践。OKUSAWA CONTEMPORARY ART AND DESIGN DOCUMENTS (2012-2013年)では、ジャンルを超えて全10回の企画展を開催、プロデューサー、ディレクターとして現代美術の啓蒙活動をおこなった。



曲みII Curvell Glass object+Brass 16x65x40cm 1976



微・塵・寂・紋 Bi-Sai-Jaku-Mon Glass object+Brass 50x45x2x4piece 1976

シンポジウム:「21世紀の芸術・科学・コンストラクション」要予約60名

予約はWEBサイトで行います。

第1回「簡潔な作品は簡潔な空間を構築させ簡潔な精神を現出させる」

日時:2016年6月2日(木) 19:00-20:30

- パネリスト 見上真司 (sixinchJAPAN代表、コンテンツポラリーフェアニチャー)
 安宅研太郎 (東京芸術大学他非常勤講師、建築家)
 土屋貴哉 (国立佐賀大学准教授、美術家、コンセプチャルアート)
 佐藤忠 (彫刻家)
 佐々木宏子 (現代美術家)
- 司会 楠見 清 (首都大学東京准教授、元『美術手帖』編集長)

第2回「ジャンルを超えて、それぞれの視点から現在(いま)を語る」

日時:2016年6月3日(金) 19:00-20:30

- パネリスト 保坂展人 (世田谷区長)
 須磨久善 (心臓外科医、須磨ハートクリニック医院長)
 石井美加 (株式会社社資生堂 経営戦略部 市場情報室)
 佐々木宏子
- 司会 楠見 清

* 出演者、テーマが変わることがあります。

展示

1F・油彩タブロー:130号-150号 2014-2015年制作

2F・ガラスオブジェ:1973-2016年制作

・パブリックアート提案展示:大型出力紙

・DVD:「青のあいだ—Unconscious Nature and Conscious Object」
48分 英語字幕

www.sasakihiroko-exhibition.org



代官山ヒルサイドテラス
 東急東横線[代官山駅]下車 徒歩3分
 東急東横線・地下鉄日比谷線[中目黒駅]下車 徒歩7分
 JR山手線・JR埼京線・地下鉄日比谷線[恵比寿駅]下車 徒歩10分